

『何も言えねえ』

令和4年7月4日(月)

校長 南波 聡

涙をぬぐい、「何も言えねえ」。

競泳の北島康介選手が 2008 年北京オリンピック競泳男子 100メートル平泳ぎ決勝で優勝した直後の言葉です。心の奥底からわき起こったように聞こえました。

今日、期末考査終了後に野球部の壮行式が行われました。吹奏楽部が演奏する「栄冠は君に輝く」に導かれ、腕を振って堂々と入場する姿に胸が熱くなりました。

準備していた激励原稿がやけに薄っぺらに感じ、急遽取りやめ率直な想いを伝えました。

島原翔南チームでの参加が叶わない中、朝練で声を出し、グラウンド隅々にまで放たれた球を集め、午後の練習では校歌で始め校歌で終える。2-3人での練習でも変わらず声を出し続けていた君たちへ！

もどかしいけど、気の利いた激励の言葉が見つかりません。

演奏に精一杯の練習時間を費やした吹奏楽部のみんな！

高橋主将の挨拶へ、いっぱいの手拍りで応えたみんな！

**君たちは立派なナイン！ 島原翔南の誇りです！
そして、みんな素晴らしい！**

